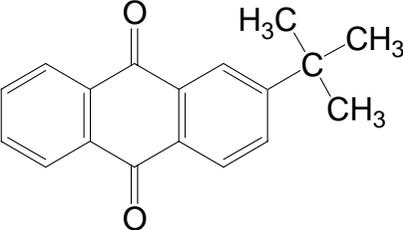


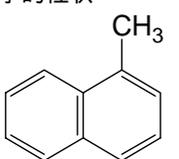
整理番号 K-1709 (NEDO 280,4-0687)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
2-tert-ブチルアントラキノン (84-47-9)	事業対象年度 平成15年度	契約年月日	契約年月日
	試験期間 15.10.10~15.12.18	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標)・揮	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮
構造式(示性式)・物理化学的性状  分子式 C ₁₈ H ₁₆ O ₂ 分子量 264.32	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD 1, 0(-1), 0(-1)(0)%	試験結果 間接	試験結果 間接
	試験結果 直接 HPLC 0, 0, 0 (0)%	試験結果 直接	試験結果 直接
純度*1 99.0%	外観 黄色針状晶		
不純物(物質名,含有率)	溶解度(対水,その他) 対水 165µg/L(25)(カラム溶出法) 対2-メトキシエタノール 10g/L以上 対ヘキサン 10g/L以上 対酢酸エチル 10g/L以上	審査部会 第32回 16年 3月 17日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点*2 103.7	1-オクタノール/水分配係数 log Kow = 5.25 (Kowwin v 1.67による計算値)	判定 難分解性	判定
沸点*1 350以上	安定性	備考 1.回収率 (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100% 試験液を直接分析機器に導入。	備考
密度 1.257g/cm³(25)		備考 2.実施機関 ・株式会社 三菱化学安全科学研究所	
LD50		備考 3.特記事項 ・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。	
IRチャートの有無 (有)・無			
用途			
生産量			
試料 購入先 東京化成工業 TCI-GR			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

*1 東京化成工業添付資料による。

*2 有機化合物辞典(講談社)による。

濃縮度試験				事業対象年度 平成17年度				濃縮度試験				毒性試験				
試験期間				16.11.26 ~ 17.10.17				試験期間				年月日				
試験装置 (標)・揮		LC50値 0.743 mg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)						試験装置 標・揮		LC50値 mg/L(hr)魚種()						
水槽設定濃度 (µg/L)								水槽設定濃度 ()								
		被験物質		分散剤						被験物質		分散剤				
				HCO-40	2-メトキシエタノール											
第1濃度区		2		20		19000		第1濃度区								
第2濃度区		0.2		2		19000		第2濃度区								
第3濃度区								第3濃度区								
濃縮倍率				脂質含有率 開始前 3.99% 終了後 5.26% 魚種(コイ)				濃縮倍率				脂質含有率 開始前 % 終了後 % 魚種()				
		7日後		11日後		18日後		24日後		28日後		43日後		60日後		
第1	水槽濃度 (µg/L)		2.15		2.10		1.96		1.94		1.91					
	倍率		290		270		250		320		310					
			300		250		280		340		360					
第2	水槽濃度 (µg/L)		0.196		0.204		0.211		0.198		0.198		0.187		0.190	
	倍率		26		11		61		21		180		220		180	
			180		40		130		130		170		93		250	
第3	水槽濃度 ()															
	倍率															
審査部会				第49回 17年 11月 18日 開催				審査部会				第 回 年 月 日 開催				
判定結果								判定結果								
備考				[定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 320倍 第2濃度区 190倍 [回収率] [定量下限濃度] 試験水 84.9% 試験水 第1濃度区 0.063 µg/L 第2濃度区 0.0063µg/L 供試魚 77.0% 供試魚 2.2 ng/g [実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構				備考								

経過

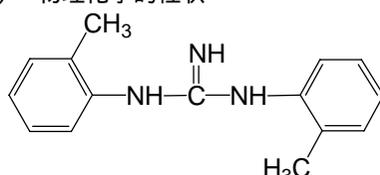
整理番号 K - 1718 (4 - 0080)		分解度試験		分解度試験		分解度試験	
1 - メチルナフタレン (90-12-0)		事業対象年度 平成15年度		契約 年 月 日		契約 年 月 日	
		試験期間 16. 2.24 ~ 16. 5.17		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .	
		試験装置 標 ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮	
構造式(示性式)・物理化学的性状  分子式 C ₁₁ H ₁₀ 分子量 142.20		試験濃度		試験濃度		試験濃度	
		被験物質 100 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L	
		汚泥 30 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L	
		本試験期間 4 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間	
純度*1 98.3%		外観 無色透明液体		試験結果 間接		試験結果 間接	
不純物(物質名,含有率) 水分 0.01% 残り 1.69%は不明		溶解度(対水,その他) 対水 28.3mg/L(20) (フラスコ法) 対アセトニトリル 1g/L以上		試験結果 直接		試験結果 直接	
融点 -36.9		1 - オクタノール/水分係数 log Pow = 3.90 (フラスコ振とう法)		審査部会 第 38 回 16年10月29日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催	
沸点 246.1		加水分解性 pH4,7,9 加水分解性なし		判定 難分解性		判定	
蒸気圧 2.65 × 10 Pa(25) (静的方法)		安定性		備考 1.回収率 (水 + 被験物質)系 100% (汚泥 + 被験物質)系 100% 2.実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構		備考	
比重*2 d ₄ ¹⁵ 1.0163							
LD50							
IRチャートの有無 (有) ・ 無							
用途*3 ナフト工酸、蛍光増白剤、界面活性剤原料							
生産量							
試料 購入先 和光純薬工業 和光特級							
経済産業公報発表年月日 16年 11月 15日							

*1 和光純薬工業添付資料による。

*2 有機化合物辞典(講談社)による。

*3 14705の化学商品(化学工業日報社)による。

濃縮度試験		事業対象年度 平成16年度					濃縮度試験							毒性試験		
試験期間		16.11.26 ~ 17.3.23					試験期間		. . . ~ . . .					依 頼	年月日	
試験装置	標・揮	LC50値 7.07 mg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)					試験装置	標・揮	LC50値 mg/L(hr)魚種()							
水槽設定濃度 (µg/L)							水槽設定濃度 ()							経過		
	被験物質	分散剤						被験物質	分散剤							
		HCO-40														
第1濃度区	10	200				第1濃度区										
第2濃度区	1	20				第2濃度区										
第3濃度区						第3濃度区										
濃縮倍率		脂質含有率 開始前 3.34% 終了後 5.64% 魚種(コイ)					濃縮倍率		脂質含有率 開始前 % 終了後 % 魚種()							
		12日後	19日後	32日後	46日後	60日後		日後	日後	日後	日後	日後	日後			
第1	水槽濃度 (µg/L)	9.35	10.7	9.84	10.1	8.80	8 . 8 0	水槽濃度 ()								
	倍率	360	380	500	410	620		倍率								
		400	380	480	480	520										
第2	水槽濃度 (µg/L)	0.987	1.01	0.967	0.994	0.968	0 . 9 6	水槽濃度 ()								
	倍率	500	360	610	630	700		倍率								
		360	420	470	810	740										
第3	水槽濃度 ()						第3	水槽濃度 ()								
	倍率							倍率								
審査部会 第49回 17年 11月 18日 開催							審査部会 第 回 年 月 日 開催									
判定結果							判定結果									
備考 [定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 520倍 第2濃度区 660倍 [回収率] [定量下限濃度] 試験水 80.2% 試験水 第1濃度区 0.50 µg/L 第2濃度区 0.050 µg/L 供試魚 84.5% 供試魚 24 ng/g [実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構							備考									

整理番号 K - 1730 (3-2190, 9-1870)		分解度試験		分解度試験		分解度試験	
1, 3-ジ- <i>o</i> -トリルグアニジン (97-39-2)		事業対象年度 平成15年度		契約 年 月 日		契約 年 月 日	
		試験期間 16. 2.16~16. 4. 8		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .	
		試験装置 (標) ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮	
構造式(示性式)・物理化学的性状  分子式 C ₁₅ H ₁₇ N ₃ 分子量 239.32		試験濃度		試験濃度		試験濃度	
		被験物質 100 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L	
		汚泥 30 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L	
		本試験期間 4 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間	
純度*1 99.5%		外観 白色粉末		試験結果 間接		試験結果 間接	
不純物(物質名, 含有率) 残り 0.5%は不明		溶解度(対水, その他) 対水 70.0 mg/L(20) (フラスコ法) 対メタノール 10 g/L 以上		試験結果 直接		試験結果 直接	
融点 174.4~176.0		1-オクタノール/水分係数 log Pow = 2.90(pH12) (フラスコ振とう法)		審査部会 第38回 16年10月29日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催	
沸点 測定不可(195 付近で 淡茶色に変化)				判定 難分解性		判定	
蒸気圧 3.25 × 10 ⁻³ Pa 以上 (80)		加水分解性 pH4,7,9 加水分解性なし		備考 1.回収率 (水+被験物質)系 99.3% (汚泥+被験物質)系 99.1% 2.実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構		備考	
比重*2 d 1.19		解離定数(20) pKa = 10.67 (分光光度法)					
LD50*3 500mg/kg(oral, rat)							
IRチャートの有無 (有) ・ 無							
用途*2 天然ゴム、合成ゴム用加硫促進剤							
生産量							
試料 購入先 東京化成工業 TC1-GR							
経済産業公報発表年月日		16年 11月 15日					

*1 東京化成工業添付資料による。

*2 有機化合物辞典(講談社)による。

*3 The Sigma-Aldrich Library of Regulatory and Safety Dataによる。

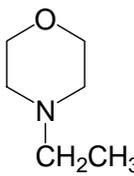
濃縮度試験					事業対象年度 平成16年度					濃縮度試験				
試験期間					16.11.25 ~ 16.12.20					試験期間				
試験装置 標・揮		LC50値 mg/L(hr)魚種()			試験装置 標・揮		LC50値 mg/L(hr)魚種()							
水槽設定濃度 ()					水槽設定濃度 ()									
被験物質		分散剤			被験物質		分散剤							
第1濃度区					第1濃度区									
第2濃度区					第2濃度区									
第3濃度区					第3濃度区									
濃縮倍率		脂質含有率 開始前 終了後 % % 魚種()			濃縮倍率		脂質含有率 開始前 終了後 % % 魚種()							
		日後	日後	日後	日後	日後	日後	日後	日後					
第1	水槽濃度()													
	倍率													
第2	水槽濃度()													
	倍率													
第3	水槽濃度()													
	倍率													
審査部会 第49回 17年 11月 18日 開催					審査部会 第 回 年 月 日 開催									
判定結果					判定結果									
備考					備考									
分配係数から類推														
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構														

毒性試験

年月日

依
頼

経過

整理番号 K - 1 7 3 2 (5 - 0 8 6 0)		分 解 度 試 験		分 解 度 試 験		分 解 度 試 験	
4 - エチルモルホリン (100-74-3)		事業対象年度 平成 1 5 年度		契 約 年 月 日		契 約 年 月 日	
		試験期間 16. 3.29 ~ 16. 5.21		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .	
		試験装置 (標) ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮	
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状  分子式 C ₆ H ₁₃ NO 分子量 115.17		試 験 濃 度		試 験 濃 度		試 験 濃 度	
		被験物質 100 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L	
		汚 泥 30 mg/L		汚 泥 mg/L		汚 泥 mg/L	
		本試験期間 4 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間	
純 度*1 100.0%		外 観 無色透明液体		間 接		間 接	
不純物 (物質名, 含有率)		溶解度 (対水, その他) 対水 250 g/L 以上(20)		間 接		間 接	
		TOC 0, 0, 0 (0)%		間 接		間 接	
		G C 0, 0, 0 (0)%		間 接		間 接	
				間 接		間 接	
融 点 -68.4		1 - オクタノール/水分配係数 log Pow = 0.08(pH12) (フラスコ振とう法)		審 査 部 会 第 3 8 回 1 6 年 1 0 月 2 9 日 開 催		審 査 部 会 第 回 年 月 日 開 催	
沸 点 138.6				判 定 難分解性		判 定	
蒸気圧 1.12×10 ³ Pa(25) (静的方法)		加水分解性 pH4,7,9 加水分解なし		備 考		備 考	
密 度*1 0.913 g/cm ³ (20)				1.回収率 (水 + 被験物質) 系 100% (汚泥 + 被験物質) 系 100% 試験液を直接分析機器に導入。			
L D ₅₀ *2 1,780mg/kg(oral, rat) 1,200mg/kg(oral, mouse)		解離定数 (20) pKa = 7.57 (滴定法)		2.実施機関 ・ 財団法人 化学物質評価研究機構			
I Rチャートの有無 (有) ・ 無				3.特記事項 ・ 開始時に pH 調整を行った。			
用 途*3 ポリウレタン重合の触媒							
生産量							
試 料 購入先 和光純薬工業 和光一級							
経済産業公報発表年月日 1 6 年 1 1 月 1 5 日							

*1 和光純薬工業添付資料による。

*2 Sigma-Aldrich Material Safety Data Sheets(11/1998-1/1999)による。

*3 有機化合物辞典 (講談社) による。

濃縮度試験					事業対象年度 平成16年度					濃縮度試験									
試験期間					16.11.25 ~ 17.5.17					試験期間									
試験装置 標・揮		LC50値 mg/L(hr)魚種()			試験装置 標・揮		LC50値 mg/L(hr)魚種()												
水槽設定濃度 ()					水槽設定濃度 ()														
被験物質		分散剤			被験物質		分散剤												
第1濃度区					第1濃度区														
第2濃度区					第2濃度区														
第3濃度区					第3濃度区														
濃縮倍率		脂質含有率			開始前		% 魚種()			濃縮倍率		脂質含有率			開始前		% 魚種()		
		終了後			%							終了後			%				
		日後			日後		日後			日後		日後			日後		日後		
第1	水槽濃度()					第1		水槽濃度()											
	倍率					第1		倍率											
第2	水槽濃度()					第2		水槽濃度()											
	倍率					第2		倍率											
第3	水槽濃度()					第3		水槽濃度()											
	倍率					第3		倍率											
審査部会 第49回 17年 11月 18日 開催					審査部会 第 回 年 月 日 開催														
判定結果					判定結果														
備考					備考														
分配係数から類推																			
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構																			

毒性試験

年月日

依
頼

経過